

第7日

令和5年2月28日（火）

午後1時零分再開

○議長（半田雄三君） 休憩前に引き続き会議を開き、一般質問を続行いたします。

次に、12番柴山恭子議員の質問を許可します。12番柴山恭子議員。

（12番柴山恭子君登壇）

○12番（柴山恭子君） 市長施政方針、令和5年度は発展期に向けて動き出す大切な1年であり、創意工夫を凝らし、朝倉市を活性化していきたいとあります。まさにそうでなければなりません。今が朝倉発展に向けての正念場であり、地域の声を生かし、小さな課題や声を見逃さず、地域が元気になってこそ、朝倉市が元気になる。災害によって失ったものは大きかったけれど、農林業を成長産業と位置づけ、自信と活力を取り戻さなければなりません。

防災行政無線の戸別受信機の配備、防災広場の整備、小中トイレ洋式化。これまで市民の皆様の声、願いでありました。これらが整備されることは、学校の環境整備の一步であり、安心・安全のまちづくり、地域防災力の向上へとつながると信じます。

2月14日、市庁舎と甘木駅周辺計画、まちづくりに参加しました。甘木町の大きな写真には、突き当たりの道と立て込んだ民家、甘木町は昔から大きな商家もあり、他の地域よりも豊かでありました。しかし、地図をじっくりと見ると、都市計画はなされたのかと思わざるを得ません。今回の甘木駅周辺整備の基本構想の策定はどのように行われるのでしょうか。

まちづくりを考えると、どのような道路の整備がなされるのかが基本だと考えます。例えば、武雄北方高速インターから続く道路は、まっすぐに、そして、両脇ににぎわいが続きます。4万8,000人の人口の町とは思えません。朝倉市の道は、なぜか突き当たりが多い。商工会議所への道は一方通行。商工業の発展は開かれた誰もが気軽に相談に行ける、そんな場所であってほしいと思います。

386バイパス沿いの優良農地の開発はできないものなのでしょうか。あらゆる機会を逃すことなく、市長の強力なリーダーシップの下、意欲と誇りを持ち、朝倉市発展のため、活性化のため、あらゆる課題に立ち向かってほしいと思います。

これより質問席で続行いたします。

（12番柴山恭子君降壇）

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 災害に強く、快適に暮らせる安全・安心なまちづくりについてお尋ねをいたします。

屋外防災行政無線は、非常に聞こえづらく、特に雨の日など、屋内には全く聞こえないなどの苦情が多く寄せられていました。今回、屋内で聴取可能な戸別無線機の配備を進め

られることは、災害時における的確な災害情報や避難情報をより確実に早く住民の皆様へ伝達でき、住民の命を守るため、大事であり、素晴らしいことです。

戸別受信機の配備計画について尋ねます。どこから始められますか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 議員おっしゃいましたように、これまで屋外放送が聞こえないとの課題解決に向けて、継続的に事業導入の可否について検討を続けてまいりました。その結果、近年の大雨、台風、地震など、多様化する災害対応の一環として、被災可能性の高いエリアからの優先的な取組の考え方に至ったところであります。

具体的には、令和5年度から令和7年度の3か年で、土砂災害特別警戒や土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域など、防災の視点で優先度、危険度の高いエリアの希望世帯から段階的に配備していく計画としております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、ほかの地域の考え方をお尋ねいたします。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 先ほども申しましたように、防災の視点で優先度の高いエリアからはじめまして、そういう土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などから優先的に始めてまいりたいと思います。

一律全世帯への配備というのは、今のところ考えておりません。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それは、できないところはかわいそうだと思いますが、違いますか。違う。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 全世帯一斉の配備というのは今のところ考えておりませんが、例えば、屋内放送でもう既に有線放送などを使いまして、屋内で聞くことができる世帯もございますので一律の配備とはしておりません。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、もう一つお尋ねします。

戸別無線ですが、ただですか。それとも個人負担がありますか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 受益者負担の観点から、有償としたいと考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 金額は。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 金額については現在検討中ですが、このような機器整備に当たりまして、市民の方から分担金や負担金等を徴収する場合には条例の制定が必要と考え

ておりますので、今回、この整備を行いますに当たりまして、希望数とかを取りまとめて発注して、それから実際に整備するまでの間にそういう負担金に関する条例等も議会に上程させていただきたいというふうに考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） これをつけますかちゅうたときに、1,000円なのか、10万円なのか分からずに決定することはできないと思いますが。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 条例で議決をいただく事項ですので、はっきりと今の段階では申し上げにくいんですが、想定しておりますのが、本体機器が約5万円程度でございますので、その1割程度を御負担いただくような考え方を持っております。まだ正式に決定はしておりません。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） ありがとうございます。何か、全然わからなくては、何となく市民の皆様も不安でしょうから、大体のところが分かればそれで結構です。

災害で死ぬのは望ましい形ではない。災害で死なないのはコミュニティが大事と言われたのは、12月11日、朝倉市防災講演会でしたが覚えていらっしゃいますか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 私のほうも参加させていただいて、講演の中でそういう発言があったというふうに記憶しております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） コミュニティが大事と言われた理由です。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 大規模な災害につきましては、どうしても公助である自治体の支援では間に合わない部分がございます。そこで重要となるのが、地元地域での助け合いという意味合いで、顔の見える環境を作っておくということが重要だというふうに記憶しております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） そうです。確かにそう。だけど、私は今、戸別無線の話をしておりますので、そのときの話の模様からすると、その顔の見える関係、顔見知りか声をかけることは、テレビなどでは危険度が理解できないとのことでした。顔を知っている人、声をかけ合う人の声かけが危険度を十分に自分に認知する大きなことだと言われたと私は思っております。

その中で、こういう説明もされました。警固断層による地震では、朝倉市の被害が最も多い。死者、家屋倒壊なども言われましたが、覚えていらっしゃいますか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 平成20年3月に公表された福岡県の地震に関する防災アセスメント調査で、警固断層による被害予想が最も大きいとされておりまして、その想定は、警固断層の破壊開始、断層の動き始めが北西下部、福岡市周辺だった場合で、そのように被害が大きくなるというふうなお示しがあったと思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） あときは、具体的に警固断層の先端が朝倉市を向いているので、死者約213人、家屋倒壊300棟という説明がありました。覚えていらっしゃいますか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 議員おっしゃったように、死者が想定されるものが213人や家屋倒壊が300棟というふうな御説明があったと思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、朝倉市としての地震対策を伺います。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 警固断層、結構長くございますので、破壊開始の位置によって想定される被害も変わってくるということとなっております。

対策としましては、市内の小中学校は耐震工事を終えているため、屋内の指定避難所としていますが、地震の場合は、屋外避難も含め、対応しなければならないと考えております。よって、地震による規模や被害状況にもよりますが、一時的、短期的、中期的、長期的避難を見据え、屋外における公園、グラウンド、公共施設駐車場などの指定も検討しているところでございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 私たちは、熊本地震のあとに地域放送の活用の実践の視察に参りました。この熊本地域、名前は忘れましたが、この地区では、第1報は、冷静に行動してください、コミュニティセンターで避難所を開設します、避難してくださいというのが第1報だったそうです。約90名がコミュニティに避難したそうです。また、屋根瓦等の修理は2人で安全ベルトを必ず締めて実施してくださいなどの放送などを続け、転落事故もなかったそうです。

東日本大震災では、避難情報を得たのは、52%地域放送、7%テレビ、17%ラジオだったそうです。今回の戸別受信機の配備により、朝倉市でもいつかは地域無線放送につながるような計画を進めていただきたいと思います。考えを聞きます。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 避難情報も含めて、今日的な情報収集の在り方は様々な手段があり、防災行政情報については、多重化してよいと考えております。

今回の事業計画は、これまでの状況把握と要望、意見の集約を参考にしながら、防災行政無線や地域コミュニティ無線、防災アプリの通信機能などの情報伝達手段の検討を重ね

た結果、あくまでも防災の観点での優先順位であり、様々な情報手段がない希望世帯への配備から取り組んでいきたいという考え方でございます。

屋外の防災無線は、同じ内容が同時に屋内で放送されることとなりますが、これは現在も有線放送などの地域放送でも行っているところでございます。これらの放送が聞けない地域について、今回、戸別受信機を配備したいと考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 戸別無線を配備されれば、それがあつて、きっと地域放送も何らかの形で整備ができていくと思いますので、そのところをまた話し合われて、よろしく願いいたします。

次に、防災広場の設置についてお伺いいたします。

三奈木コミュニティセンター隣接地に作られる防災広場についてお尋ねします。どのような広場なのか。防災広場の看板は立てられるのか。トイレ、水は整備されますか。伺います。

○議長（半田雄三君） 総務部付部長。

○総務部付部長（藤浩二郎君） 現在、整備を進めております三奈木コミュニティセンターの防災広場についてお答えいたします。

改築中の三奈木コミュニティセンター敷地に防災広場の整備を進めておまして、現在、設計中の状況でございます。令和5年度に整備を行う予定でございます。

具体的に言いますと、駐車場のほか、かまどベンチや手洗い場、東屋を設置する予定でございます。また、ベンチには、平成29年7月、九州北部豪雨により流出した石橋、六本松橋の石を活用することで、大きな災害があつたことを後世に伝えていくことを計画しております。以上でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） トイレも整備されますか。

○議長（半田雄三君） 総務部付部長。

○総務部付部長（藤浩二郎君） トイレの整備は予定しておりません。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 防災広場というからには車中泊も考えられますし、やはり、トイレは地域の皆さんの協力を得て、コミュニティセンターの皆さんの協力を得て、トイレは必要だと考えます。どうですか。

○議長（半田雄三君） 総務部付部長。

○総務部付部長（藤浩二郎君） 現在、計画中でございますので、確定ではないことではありますけども、三奈木コミュニティセンター、今回、新しく改築されておりますけども、それに併設する防災広場ということで、現時点では計画されていないというところがございます。以上です。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 防災広場は、通常、地域の中心にございます。休日などは多くの住民の皆様が自由に活動ができ、交流の場であってほしいと思いますし、ここでこそコミュニティの活性化が行われるはずでず。皆さんの顔や声をかけ合う絶好の機会と私は考えます。こういうときに、コミュニティセンターのトイレが使えるんでしょうか。

○議長（半田雄三君） 総務部付部長。

○総務部付部長（藤浩二郎君） 具体的に催される内容にもよると思いますが、コミュニティセンターのトイレのほうの活用も可能ではないかと考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、三奈木コミュニティは、土曜、日曜、常に空いているということですか。

○議長（半田雄三君） 総務部付部長。

○総務部付部長（藤浩二郎君） 先ほど申しましたとおり、いつも土日に空いているというわけではございませんが、催される内容によっては、そのあたりの調整も可能ではないかと考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 今、三奈木のことはよそのことと言われましたが、それでは、私は立石のこととして考えたときに、家の前に、中心に広場がございます。常に多くの子供たちや、それから、若いお母さん、そして、おじいちゃんやおばあちゃんたちも遊びに来ます。このとき、立石コミュニティセンターは空いておりませんので、トイレもなく、何かをするには非常に不便です。コミュニティセンター主催の中での事業であれば、コミュニティセンターは開けるでしょうけれど、そうでなく、住民の皆様が常に遊びに来、活性化し、顔を合わせるコミュニティセンター前の広場にトイレがないということは非常に不便になると思いますが。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 防災広場に限ったことではございませんけれども、実際の災害等、地震等も発生した場合などでは、現在、整地している公園やグラウンドの活用はもとより、石成公園にかまどベンチを設置したように、今後、整備していく公共施設も有効活用していく考え方を関係部署と共有していくこととなります。

例えば大規模地震時における公園やグラウンド、その他公共施設の大型駐車場への車の避難イメージで、緊急的措置や長期的な対処法として描かれなければならない、考えているところではございます。

また、水やトイレということではありますが、基本的に公共施設は水道やトイレ設備があるため、新たな非日常の有効活用については、現在の公共施設を中心に検討、対処していきたいという広い意味での考え方を持っております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 私の考え方が間違っているのかもしれませんが、防災広場という名前がつけられれば、そこは必ず水やトイレが必要となると私は思っておりました。違いますか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 一時的な避難ではなく、中長期的なものも含めて、そういった設備は必要になるのではないかと考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） そういった設備が必要になるのではなくて、防災広場という名前をつけたからには、必ずトイレと水の設置は必要だと私は考えておりました。それが防災広場というものではないですか。

○議長（半田雄三君） 復興推進室長。

○復興推進室長（梅田 功君） 現在、防災広場を整備しております社会資本整備総合交付金事業の中での所見では、必須ということではなっておりません。

なお、現在、トイレのほうを設置している防災広場、今、予定しております杷木、志波、久喜宮のいずれもトイレのほうは設置はしておりません。以上です。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それはおかしいでしょう。

○議長（半田雄三君） 復興推進室長。

○復興推進室長（梅田 功君） 隣接する箇所に公共施設がある、また、非常時においては、トイレのほうを、仮設トイレ等を平成29年災害のときにも用意させていただくような手だてになるかと考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 防災広場は非常時に必要になるとは思いますが、私が、今、しゃべっているのは、防災広場を地域の交流地点として顔の見せあえるような、声をかけ合えるような、そんな広場であってほしいと思うからこそ、水とトイレが必要ではないかといっているんです。分かりませんか。

○議長（半田雄三君） 復興推進室長。

○復興推進室長（梅田 功君） 私どものほうも防災広場の整備のときに、トイレの設置のほうは必要ではないかとの検討も行いましたけれども、下水道地区でなく合併浄化槽という形になるところについてがまだ経費がかかるので、今では、緊急時には仮設トイレを用意していきたいという考え方で整理をさせていただいているところでございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、朝倉市全域にそういう設置がされていないので、トイレの整備はできなかったということですか。下水道があれば整備ができるということですか。

か。

○議長（半田雄三君） 復興推進室長。

○復興推進室長（梅田 功君） 申しわけありません。一概にそうとは言えませんけれども、まずは最低限必要なものの整備をさせていただいたということで御理解いただきたいと思えます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 大きなお金をかけて防災広場を作るわけですから、最低限じゃなくて、これだけは必要と思えることはやってほしいと考えます。

防災広場の看板は立てられますか。

○議長（半田雄三君） 復興推進室長。

○復興推進室長（梅田 功君） 防災拠点施設の看板、案内のほうをするように予定しております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） トイレはもっとも大事ですが、防災広場の看板も大事だと考えております。通常、皆さんがそこに来たときに、ここは防災広場なんだ、何かがあったときはここに逃げてくればいいんだというような考えを持って、常にそこで遊んだり、いろいろな事業をされることは、とても大事なことだと思いますので、防災広場に関しては、ここは防災広場です、何かがあったときはここに逃げてきてくださいというように、住民の皆様の意識があらわれるような防災看板を立ててほしいと思えます。

三奈木コミュニティ前の防災広場には、車中泊はどれぐらいできますか。

○議長（半田雄三君） 復興推進室長。

○復興推進室長（梅田 功君） コミュニティセンターの敷地も含めたところで、約5,000平米程度ありますけれども、車の台数としては50台程度だったかというふうに記憶しております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 分かりました。とにかく、熊本地震のときは車中泊が多かったです。夜、揺れるのはとても怖いと。だから、車の中で寝たいということだけで、あらゆる空き地とか、駐車場とか、いろんなところに車で逃げてある方が多かったのを覚えております。

防災広場の整備は、今後、ほかのコミュニティセンターでも進めていくことができますか。安心・安全のまちづくりにつながると思えます。考えを伺います。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 市としての防災広場の位置づけは、避難地や防火帯であり、時として、災害ごみやがれき等の仮置き場として考えております。併せて、防災計画には公園条例等で定めている施設を防災広場の位置づけともしており、避難地としての確保や

大規模火災等の延焼防止、救援活動の拠点として活用する考えであります。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それで結論は。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 公園やグラウンド、大型施設の駐車場などの活用は、災害に備える意味で可能な限り少しでも前に進めなければならないと考えております。例えば市街地であれば、甘木公園の多目的広場や芝生広場、公園駐車場、甘木球場などになりますが、各地域や中学校単位のエリアで考えると、郊外では公園やグラウンド、その他公共的な施設では限りがあります。

しかしながら、基本的には公共施設は、水道、トイレ設備等がありますので、新たな非日常の有効活用については、現在の公共施設を中心に検討を対処していきたいと考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 聞き間違いをしていませんか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 防災広場を市内の全域にまで、今、広げるという計画はありません。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 私は、散々、今までコミュニティセンターのいろんな話で一般質問もしまして、そのたびに、皆さんは市民は平等、各地区は平等に物を行うという答弁を聞いておりますが。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 防災広場のみならず、避難地となるような公園であるとか、広場、そういったものも含めて、避難地を確保していきたいというふうに考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 例えば、コミュニティセンター前の空き地、広場、当然、防災広場になり得ると思いますので、第一、そういうところに地域の皆さんが寄り合って顔を知り合うことは、大きな災害のときに有効だとも思います。なぜ、杷木防災拠点施設、三奈木に防災広場、ほかのところに全く計画しないということはどういうことでしょうか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 現段階では、公共施設等を主に避難地として活用していきたいというふうな考えで、全域に防災広場を設置するという考え方は、今のところ持っておりません。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 私の気持ちが部長には通じないようです。何も防災に関してだけ

を言っているのではありません。防災に関して、地域づくりをすることは大事なことであり、それが防災広場につながるのではないかと申し上げているはずですが。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 災害に備えまして、コミュニティで顔の見える関係を作ることが重要という講演等もありましたように、地域活動につきましては、それぞれのコミュニティを中心として進めていかなければならないというふうに考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。もう1回、お願いします。

○12番（柴山恭子君） それで。

○議長（半田雄三君） 防災交通課長。

○防災交通課長（川上憲司君） ただいまの御質問にお答えをするとしますれば、考え方というところではまだ検討中という表現を先ほど部長申しました。考え方として、先ほど甘木地域を中心としたところ、例えば、この市役所近辺、甘木公園近辺というところの有効活用というところを考えているということであります。

例えば、秋月校区で申し上げますと、上秋月には運動広場というところが、旧上秋月小学校跡地にあります。そちらには、グラウンド兼トイレという形がありますし、秋月でいきますれば、財産区の駐車場管理組合がやっております公共駐車場、あちらにもいわゆる避難という考え方でいきますれば、屋内の避難という想定ではなくて、屋外に想定をすればトイレも観光客のためのトイレがありますので、有効活用という観点でいけば、それで対処はできるのではないかと。はたまた、今度は安川地区にまいりますと、安川グラウンド、旧安川小学校跡地にあります安川グラウンドがあります。あちらにも一定のグラウンドの広さがあり、また、建物も周りにはあまりございませんので、地震という観点の防災対策という考え方でいけば、あそこにもトイレはございます。

ですから、そういう現在ある有効活用できるような施設、そういったところを観点に置きながら、議員がおっしゃいます日常的な広場、まちづくりのための施設、その延長線上で非日常がどれだけ併せ持つて考えられるかという観点が必要なのではないかと。ただ、ウイークポイントとしましては、同じ中学校区でいきますと、南陵中学校区であったりとか、十文字中学校区でありましたりとか、そういう条件が必ずしもそろっているという現状ではございません。

ですから、そういう観点で防災広場という観念はまだございませんけれども、有効活用するような拠点の在り様というのは、非日常、いわゆる防災対策として考えていくその必要性は感じているということでございます。以上です。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 非日常で使うことができることもとても大事です。そこにトイレがあることはすばらしい。しかし、日常で十分に使えることがこの広場の有効活用なのです。日常的にこの広場を使い、みんなが寄り合い、力を合わせて楽しい行動をすることな

どが、この広場の原点なのです。それが防災広場となり得ると私は言っております。

だから、私が今言っているコミュニティセンター、それぞれのコミュニティの中で防災広場ができますかということは、そういうことなんです。それぞれの地域の中心に、どのような広場があって、どのような施設があるか。それをきちんと精査して、ここにはないんだ、ここには作らなければというのを、もう一度考え直してくださいという意味です。あるところにする必要はありません。

今、課長が言われたように、トイレがあるところもあれば、それが十分に日常的に活用できるのであれば、それはすばらしいことです。だから、そこら辺はどう考えてありますかと聞きました。私は、明日作ってくださいとは言っておりません。朝倉市の方針として、防災広場の考え方を聞いたのですが。

○議長（半田雄三君） 防災交通課長。

○防災交通課長（川上憲司君） 議員おっしゃいます、例えば防災に観点を置いた日常的な空間、その必要性というところの部分、合理的にも経済的にもできる考え方だと私も思います。ですので、例えば今後、どのような形で進めていこうとするのかという方針、方向性はまだ定まっておられませんけれども、その検討をしていくという姿勢は、考え方としてはあるということでございます。以上です。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 施政方針にも、発展期に向けて動き出す大切な1年であると書いてあるではありませんか。これは市長の思いです。市長が今年から頑張っていかにや、朝倉はつぶれてしまうと思っちゃるとでしょう。頑張りたいと思っちゃるときに、やはり方向的にどう持っていくかはしっかりと考えるべきだと思いますので、頑張ってもらいたいと思います。答弁を。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） これまで災害からの復旧・復興というものがどうしても中心のテーマとなっておってこれまで取り組んでまいりましたが、これからは、さらに朝倉市が発展していくためにいろんな事業も動き出すということで、これまで凍結していた事業なども動かしながら市の発展につなげていくという思いを、そういう考え方を持っております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） そうなんです。それが聞きたかった。発展に向かうならば、これから朝倉市はどの方向に持っていこうか、防災広場をつくるなら、三奈木だけではなく、ここにも必要だろうというふうな考え方が欲しかったんです。よろしいですか。頑張ってください。

次に、将来的な施設の方向性についてお尋ねします。

生涯学習での高齢者の誰もが楽しめるスポーツ、体験活動についてお尋ねします。どの

ような活動が行われていますか。

○議長（半田雄三君） 教育部長。

○教育部長（時津美穂君） 議員お尋ねの高齢者でも参加できる体力測定やニュースポーツなどについてお答えをいたします。

文化・生涯学習課が担当いたします出前講座の中で、「ニュースポーツ体験教室」講座及び「チェック・ザ・体力」講座を設けております。ニュースポーツとは、グラウンドゴルフやカローリングなど、年齢や体力に関わらず、誰もが気軽に楽しめるスポーツとして、近年、注目をされておりますレクリエーションスポーツの総称でございます。

体験教室では、ソフトダーツやパラリンピック競技でありますボッチャなどが人気の種目でございます。体力づくりのみならず、地域のコミュニケーション作りにつながるように普及を推進しております。

「チェック・ザ・体力」講座は、上体おこしや握力測定など、6種目の体力測定を行い、自己の体の状態を客観的に把握し、今後の自分自身の体力づくりや健康づくりに生かしていくことを目的としております。

どちらの講座も各コミュニティから推薦いただきましたスポーツ推進委員さんの協力を得ながら活動を進めております。以上でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） でき得るならば、体力測手は個人の体力の推移が分かるようなカルテのようなものがあれば、次に自分が同じ講座を受けるときに、自分の体力がそのまま維持しているのか、劣ったのか、少しは上がっているかというようなことも分かると思いますので、カルテのようなものができれば、多くの皆さんが何回も受けられるような気がしますので、その方向性で頑張ってもらいたいのですが。

○議長（半田雄三君） 教育部長。

○教育部長（時津美穂君） 議員のお尋ねにつきましてお答えをいたします。

現在、体力測定を行った方に配付しております結果表は、その会の測定結果のみが記載をされております。自己の体の状態を客観的に把握し、健康の維持につなげていくためにも、体力測定を定期的に行っていただき、その結果を長い目で見ていくことは重要であると考えております。

議員御指摘のように、今後は毎回の測定結果の比較ができるような結果表となるように改善していきたいと考えております。以上でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） よろしくお願ひいたします。

それでは、スポーツ施設の考え方についてお尋ねいたします。

今、総合体育館は凍結されたままで、今後の方針は出されておられません。しかし、仮に総合体育館があったとしても、それぞれの地域には防災拠点施設となるような体育施設の

必要性があるのではないですか。

○議長（半田雄三君） 答弁をお願いします。教育部長。

○教育部長（時津美穂君） 議員お尋ねにつきまして、お答えをいたします。

まず、先ほど申し上げました出前講座の活動の施設についてお答えをいたします。

出前講座につきましては、令和4年度の実施状況におきましては、各コミュニティセンター、地域の公民館、学童保育所及び小学校体育館など、社会体育施設以外の施設でも活動を行っています。参加者が集まりやすい施設で行っており、出前講座のニュースポーツ体験や体力測定での利用につきましては、満足をいただいているものだと考えております。

続いて、各施設につきましてお答えをいたします。

各施設におきまして、特に屋内施設につきましては、年数経過によります影響が出てきている状況ではございますが、危険な箇所は早急に補修等の対応を行い、安全に安心して利用していただくことに努めております。

その中で、杷木地域の旧久喜宮小学校及び旧志波小学校の体育館を令和5年度から社会体育施設とし、地域の体育施設の充実を図ろうとしております。

また、スポーツ基本法第13条に、学校のスポーツ施設を一般のスポーツのための利用に供するように努めなければならないと定められております。文化・生涯学習課が所管いたします施設の利用促進に加え、学校施設の開放を充実させながら、地域体育施設として最大限に活用することで、市民のスポーツ需要に対する満足度を高めてまいります。以上でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 分かりました。頑張ってください。

先ほどの質問に対しての答えをお願いします。

○議長（半田雄三君） 柴山議員、先ほどの質問を、もう一度繰り返してください。12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 総合体育館は凍結されたままで今後の方針は出されておられません。仮に総合体育館があったとしても、それぞれの地域には防災拠点施設となるような体育館施設の必要性があるのではないですかとお聞きいたしましたが。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 質問を変えます。

勤労青少年体育館や武道館の老朽化など、市民からの苦情は全く聞こえてきませんか。

○議長（半田雄三君） 教育部長。

○教育部長（時津美穂君） お答えをいたします。

苦情とかなないように、利用者の安全を第一に考え、危険な箇所は早急に補修等を行うなど適切な維持管理を行っています。今後も長寿命化に努め、安心して利用いただくことを全力で努めてまいります。以上でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 総合体育館が凍結されたままで、今後はどうするのですかというように聞いているんじゃないですよ。総合体育館があったとしても、各地区に例えばこの甘木地区ですよ、体育館が要るのではないですかと聞いているんですよ。私のところには武道館や青少年体育館のやり直しとか何とか、ばんばん意見が聞かれます。特に、剣道の子どもたちからは聞かれますが、本当に部長たち、総務部長たちの中にはそういうふうな話は全く聞こえてきませんか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） これまでも体育施設の要望などあることは聞いておりますし、また、これまでも老朽化している施設等もありますので、整備を望む声などは聞いております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、聞いておりますからの先。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） なぜ答えられないかが分からない。どうして人の顔ばかり見て自分の考えが出せないのかが分からない。これは答弁する人は決められているんですか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 先ほど教育部長が答弁したとおりのように考えております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 何十年補修をし補修をし、このままやっていますか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 体育館の建設に関する考え方としては、これまでも現在も教育委員会のほうで検討いただいているものと思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） じゃあ、総合体育館も教育部でやるんですか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 十文字公園に整備予定であった総合的体育施設、こちらについては、まだしばらく建設が難しい状況になっておりますが、それまでのほかの体育施設の利用等につきましては、教育委員会と庁舎・十文字公園整備室等で連携しながら考えていきたいというふうに、この十文字公園のほうの体育施設の方向性については考えていきたいと思います。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） あらゆる施設については教育委員会の管轄なんですか。体育施設に関してだけですか。部長はコミュニティなども使ってあると言われましたが、全て教育委員会の管轄で行うんですか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 体育施設という意味合いで、体育館が建設された後の管理とか、そういったものについては教育委員会と連携が必要になってくると思います。

今、建設に関する部分につきましたり、あとは十文字公園の整備に関する部分につきましては、庁舎・十文字公園整備室のほうで検討させていただいています。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 私の質問は、凍結された総合体育館が仮にあったとしても、地域に体育館は必要ではないですかと聞いたと思いますが、これはやはり教育部の管轄ですか。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 総合的体育施設の整備、建設等につきましては、当然庁舎・十文字公園整備室で建設に向けて検討をするというものでございますけども、各地区にある体育施設等の利用、管理等につきましては、教育委員会で所管していただいているものと理解しております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、青少年体育館もそういうことだったんですね。

○議長（半田雄三君） 総務部長。

○総務部長（平田龍次君） 現在の甘木体育センターにつきましても、その管理や維持補修等、教育委員会のほうで管理していただいております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それでは、教育委員会のほうで甘木の体育施設についての事業を進めていっていただきたいと思いますが。

○議長（半田雄三君） 教育長。

○教育長（早野展生君） 市民の皆さんが利用していただいております体育施設につきましては、市内全体やっぱり老朽化が進んでいるものもございまして、安全・安心な施設を提供できるよう、長寿命化を念頭に置きながら補修等を計画的に行っていきたい、これは教育部長が申したとおりでございます。

なお、市内の小中学校ですね、小学校が11校、中学校が6校ございますが、その学校の運動場や体育館、また武道館等の施設は、全小中学校とも生涯スポーツ、生涯学習の観点から現在も開放をしているところでございます。特に、体育館におきましては、市内17校中16校を開放しております。武道館につきましても、中学校6校中6校全部開放している状況でございます。

今後は、より一層地域の方々のために学校を活用していただきたいというふうに考えております。

また、学校に対しましても、開かれた学校づくりの視点から、学校施設等の開放を推奨するように伝えていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 教育長はああ言われましたが、開かれた学校というのは前々から聞いております。しかし、地域の住民が学校施設を自由に使うということは無理でしょう。子どもたちのスポーツ少年団の練習もありますし、日曜の早朝とかいろいろなきならまだしも、学校施設を自由に地域の住民が使うことは、これは無理でもありますし、今でもそうは使われてはおらないと思います。早朝の野球とかそういうことでは使われますが、学校の施設を自由に開放し、どこまで使えるかというのは非常に難しいことだと私は考えておりますので、やはり朝倉市としては各地区に体育館の考え方は持っていてほしいと思います。

次に、アサギマダラ、さっき熊本議員がべらべらとしゃべりましたので、私が言うことは少なくなりましたが、遺跡公園にアサギマダラが来たという話は聞きませんか。

○議長（半田雄三君） 教育部長。

○教育部長（時津美穂君） アサギマダラにつきましてお答えをいたします。

アサギマダラは、長距離を移動いたします大型のチョウでございます。朝倉市内でもアサギマダラが好む植物が見られる場所には飛来をしておりますが、平塚川添遺跡公園におきましては、現在まで飛来の確認はできておりません。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） じゃあ、私に寄せられたのはガセネタだったんでしょう。平塚公園でアサギマダラの写真を撮ってきたという人がいます。

○議長（半田雄三君） 文化・生涯学習課長。

○文化・生涯学習課長（吉武孝礼君） 平塚川添遺跡公園の職員が確認はしていないという意味でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） フジバカマに来ると言われております。

福岡市植物園の野草園には、多くのアサギマダラが飛んでくると言われております。

この前の打合せのときに、遺跡公園にもフジバカマがあるという話を聞きましたが、これを増やして、このチョウを呼び込もうとは思われませんか。

○議長（半田雄三君） 教育部長。

○教育部長（時津美穂君） フジバカマは秋の七草として知られる山野草で、在来種でございます。令和元年度に公園内、その後、体験学習館横の花壇に植栽したものが現在でも一部残っております。残念ながら、土壌が合わないためか群落とはなっておりませんが、フジバカマのみならず、七草を植えることで季節感を感じ、景色を楽しむことができる公園になると思われるため、今後も継続して植栽していきたいと考えます。

また、柴山議員が9月議会の際に御意見頂きました花を植えることによりチョウも来るようになれば、公園の風景をより楽しんでいただけるというふうに考えております。以

上でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） そうしてほしい。何か、遺跡公園は前向きな事業があんまりないような気がします。これをして呼びましようとか、当然コウノトリの巣塔を反対された恨みもあるわけですが、せめてコウノトリ巣塔が駄目なら、（「カラス、カラス」と呼ぶ者あり）カラスはもっと駄目。（発言する者あり）ばかがと言われたら大変ですよ。カラスは嫌なものです。それなら、アサギマダラは呼び込みたいと思っておりますので、できればそういう方向で行ってほしいし、福岡市植物園にどんどん来ているのなら、フジバカマの植栽方法なども考えてアサギマダラを呼び込んでほしいと思います。

次に、燃料費高騰についてお尋ねいたします。

朝倉市エネルギー価格高騰対策事業者支援金、上限30万円、令和4年4月1日から10月までのうち、任意の連続する3か月分の光熱費及び燃料費の合計から、前年度同期分の合計額に2分の1を乗じたものに間違いありませんか。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） はい、そのとおりでございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 対象になる事業者数をお尋ねします。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 事業者が約1,700件程度ありましたが、そのうち影響が大きいと思われる約110件程度の申請を想定しておりました。そのうち、申請件数は85件でありました。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 予算額を尋ねます。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 約3,400万円でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 支給額を尋ねます。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 1,480万円でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 85件と言われましたよね。1,480万円ですかね。多いか少ないか、1,700件あるうちの85件。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 先ほど言いました1,700件というのは、当初の試算で対象事業者を拾い上げたものでございます。実際、予算として計上している分の3,400万円

は、その1,700件のうち影響が大きいと思われる110件を想定しておりました。そのうちの85件でございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 想定したとはどういうことですか。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 想定したというのは、対象事業者が先ほど言いましたように1,700件ありましたけども、このうち、この燃料高騰による影響が大きいと思われる業種を選んで110件としております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） じゃあ、想定した後にこの支援金をどうやって手続をさせたんですか。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 手続どうやってと言われますと、以前はオンライン申請等々がコロナのときにはありましたけども、今回はペーパーベースで添付書類をつけていただきまして申請をしていただいております。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） それは、そちらのほうから要請をして申請をしてもらったということですか。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 市報等で周知をしまして、その該当事業者のほうから希望される方が申請されたということでございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） そうでしょう。本人からの申請でしょう。何もあなたたちが調べて、この人が適切だからといって案内を出したわけではないでしょう。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 商工会議所、朝倉商工会等のほうからも情報を得られて、そちらのほうを通じてとか、市報等で周知をしたところですよ。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 私のもとには、この手続が非常に小難しく、なかなか申請する気にならなかったというような情報がたくさん来ております。

思い出しませんか。国からの持続化給付金、その折に、あなたたちは、朝倉市がその手続の手伝いをしました。その当時、そのことで私たちは非常に助かって、朝倉市は多くの給付金を受け取ったと思います。

今回はそのようなことがなくて、何となく事業者の皆さんからは非常に扱いにくいお金だというような意見が聞かれましたので、今後このようなことをするときには、やはり事業

者に寄り添ったような形で行ってほしいと私は思っております。

それからもう1つ、先日LPガス協会の方が見え、国は令和4年第2次補正予算で電気や都市ガス料金に負担軽減策が折り込まれたが、LPガスは対象外となった。そのため、太宰府市では独自で市民、事業者への支援が行われたと言っていました。朝倉市としてはどう考えてありますか。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） 今回の補助金につきましては、朝倉市においては特定の事業者、燃料等に偏りがなく、電気、ガス、ガソリン等全て対象としたところでございます。

今後の事業者支援につきましては、LPガスはもちろん、電気やガソリンも含め、国、県動向を注視していくところでございます。

○議長（半田雄三君） 12番柴山議員。

○12番（柴山恭子君） 今オール電化と言われます。何かテレビでも何でもオール電化オール電化とか言います。しかし、災害のことを考えますと、エネルギーの分散は必要であります。また、朝倉市内にはLPガス事業者も多く、地域の事業者を守るとともに、何かの折には、夜中でも早朝でも対応できる顔の見える関係は守られるべきであります。

LPガス業者というのは規模も小さくて、その地区その地区にいらっしゃるものですから、最初は国としても何となくその方面に目が向かなかったのだらうとは思いますが、顔の見える関係、何かがあったとき、ああ、あの人に電話すれば何とかしていると。さっきの災害の話と一緒にです。これはえらい大事だと思いますから、今後もLPガス事業者についても何らかの対策を考えていただきたいと思います。

○議長（半田雄三君） 農林商工部長。

○農林商工部長（上村一成君） LPガス協会のほうは……。

○議長（半田雄三君） 12番柴山恭子議員の質問は終わりました。

暫時休憩いたします。

午後2時10分休憩